

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	特進一貫	芸術	音楽		必修	1

講座のねらい

この講座では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて一人一人の生徒が楽しく音楽とかかわり、多彩な表現ができ、また、中学校のまとめとしての合奏ができることにポイントを置いています。世界の民族音楽、日本の伝統音楽なども学習し、その違いなど考察していきます。

使用教材及び問題集

教科書：中学生の音楽 2・3 下 教育芸術社
 中学生の器楽 教育芸術社
 問題集：音楽のキャンパス 3 教育芸術社
 その他：ソプラノリコーダー・又はアルトリコーダー

授業の内容と進め方

- ・授業一コマの時間配分を、実技・鑑賞と理論の大きな二分野に分けて進めていきます。
- ・様々な楽曲を、歌唱、リコーダー演奏両面から学習していきます。
- ・音楽理論3年間のまとめ。
- ・リズム打ち、ボイスアンサンブル、リコーダーアンサンブル等の合奏表現を学習します。

講座の到達目標

- ・歌唱においては、独唱だけでなく、合唱曲によるハーモニーの確立。
- ・リコーダー演奏は、アンサンブルにおける多彩な表現を確立。
- ・基本的な音楽理論の3年間のまとめ。
- ・多彩なリズム表現方法の確立。

評価の観点・テスト・課題など

- ・毎時間の授業に対する取り組み方を大切な評価の観点とします。
- ・授業の中での実技テストを実施します。
- ・学期末考査を実施します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

- ・オリエンテーション
- ・歌唱表現
- ・リコーダーでの音楽表現
- ・リズム表現
- ・音楽理論
- ・実技テスト実施（歌唱またはリコーダー演奏）
- ・学期末考査実施

2 学期 学習計画および学習内容

- ・日本の伝統音楽の鑑賞
- ・世界の民族音楽の鑑賞
- ・リコーダーアンサンブル
- ・ボイスアンサンブル
- ・ミュージカル映画等の鑑賞
- ・音楽理論
- ・実技テスト実施（歌唱またはリコーダー演奏）
- ・学期末考査実施

3 学期 学習計画および学習内容

- ・合唱練習
- ・音楽理論3年間のまとめ
- ・実技テスト実施